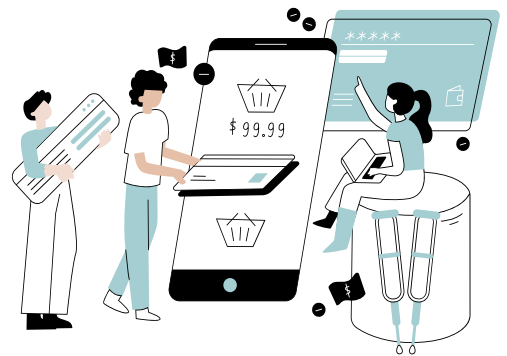




令和6年度議会報告会 共通テーマ

議会における ICT推進について

三浦市議会



各地区の共通テーマである『議会におけるICT推進について』、プレゼンテーションを行わせていただきます。

本日発表を務めます、～と申します。

時間は15分ほどを想定しておりますので、どうぞよろしく願いたいします。

目次

1.これまでのICT推進の経過

2.タブレット導入の効果と課題

3.現状のICT推進活動

ICTとは

Information and Communication Technologyの略称。
PCだけでなくスマートフォンやスマートスピーカーなど、
さまざまな形状のコンピュータを使った情報処理や通信技術の総称を指す。

目次はこのようになっております。

議会におけるこれまでのICT推進の歩みや課題、現状の動きについてご報告できたらと思っております。

そもそもICTとは何なのか、という部分についても念のため確認させていただきますが、Information and Communication Technologyの頭文字をとった略称であり、情報通信技術と訳されます。

よく『IT』という言葉も耳にされると思いますが、こちらはInformation Technologyの略称でありまして、ICTという言葉はこのITが意味する情報処理技術に加えて、通信インフラやネットワーク技術が可能にするコミュニケーションのC、に焦点が当たることが多くなります。

1.これまでのICT推進の経過

－ 議会活動におけるタブレット導入 －

導入時期	令和4年10月～
背景	国や県内他市で導入が進んでいることを踏まえ、三浦市議会においても検討を開始
目的	①ペーパーレス化 ②議会活動の効率化 ③市民への情報提供の簡易化

このICT推進について、これまでの経過を整理してまいります。

三浦市議会におけるICT推進としては、こちらのタブレット端末を導入したことが大きな転換点となりました。

令和4年10月から本格導入となり、2年とちょっとが経過したことになります。

背景としては、国や県内の近隣自治体において、ペーパーレス化を主な目標としたタブレットの導入が進み始めていることを踏まえ、三浦市議会においても導入の検討をスタートした次第です。

当初の導入の目的は、主に『ペーパーレス化』『議会活動の効率化』『市民への情報提供の簡易化』の3点でした。

1.これまでのICT推進の経過

－タブレット導入までの流れ①－



次に、導入までの検討過程を時系列でたどってまいります。
まず、令和元年9月に『ICTに関する検討委員会』が設置されました。

この検討委員会は、結果的に約3年半の間で18回も開催され、多くの議論が行われました。

同年11月以降には、タブレットを既に導入していた複数の先進自治体に対して行政視察を行いました。

こちらの写真は検討委員会のメンバーで近隣自治体である逗子市議会を訪問し、実際に端末を操作しながら逗子市議会議員の方々にレクチャーを受けている場面です。

この後もペーパーレス会議システムの比較・検証などを行った上で、有用性があると判断し、令和3年9月に三浦市議会としてタブレットを導入することが決定しました。

導入のための予算が付いた令和4年度に会議規則の改正や使用基準の決定、Wi-Fiの環境整備といった準備が進められました。

1.これまでのICT推進の経過

－タブレット導入までの流れ②－



そうしたプロセスを経て、令和4年10月に議場でタブレットが配布されました。この際、タブレットの操作研修も行われています。

令和4年12月の定例会で試行期間として、紙ベースの資料も併せての運用で走り始めましたが、実際にはほぼペーパーレスの状態に進めることができました。

そして、その次にあたる令和5年3月の定例会において、タブレットの本格使用が開始となりました。

写真はこの当時のものですが、端末を使いながら登壇していることがお分かりいただけると思います。

当然ながらこの定例会の後にも、実際に活用して分かった改善のための意見交換が行われまして、以降の定例会における運用に反映されています。

令和5年4月には市議会議員選挙がありましたから、新しい議員も入る中でさらなるブラッシュアップが行われていくこととなります。

この後の動きについては、別のスライドであらためてご説明します。

1.これまでのICT推進の経過

－ 採用端末の詳細 －

端末	iPad Air（第5世代）64GB Wi-Fi+Cellularモデル	
アプリ (当初)	SideBooks（資料閲覧） LINEWORKS（報・連・相ツール）	
年間コスト (リース代)	約 528,000円 <small>1台あたり月額約2,600円×17台×12ヵ月</small>	

そしてここで、採用した端末の情報などを整理します。
まず端末は、アップル社のiPad air、第5世代のものとなっています。

昨年5月に第6世代が発売されたので今となっては1世代前のモデルになりますが、導入当時としては最新のものでありました。

また、セルラーモデルとなっておりまして、携帯電話回線を使ってインターネットに接続できるため、Wi-Fiが無い環境でもネットにアクセスすることが可能です。

当初導入されていたアプリとしては、資料を閲覧するためのサイドブックスに加え、事務局や議員間での情報交換ができるLINEWORKS（簡単に言いますと、お使いになっている方も多いと思いますLINEのビジネス版といった感じのものです）、この2つが主なものでした。

購入ではなくリースとしているため、リース代の約528,000円が主な年間コストになります。

2. タブレット導入の効果と課題

期間内（2023/12/01 ～ 2024/12/01）に **173,637 枚** の紙資源が削減できました



単純な印刷費用だけでも **年間 868,185円** の削減に成功

※あくまで単純計算した参考値となります

ここからタブレット導入の効果をご説明します。
まず定量的かつ大きな効果として、やはりペーパーレス化が進んだことが挙げられます。

あくまで単純計算になりますが、直近の1年間だけで17万枚以上の紙資源が削減できたことになりまして、印刷費用だけでも年間868,185円のコストカットができています。

先ほどご説明したリース代のコストが年間で約528,000円ですから、差し引いても年間約30万円以上の経費削減が実現できていることになります。

2. タブレット導入の効果と課題

印刷物を配付する手間がかなり減りました。

議会事務局職員

議員への周知を素早くできるようになりました。

どの議員がお知らせを見たかが分かり便利です。

アンケート機能で情報集約が簡単になりました。

LINWORKSの導入もあり、

議員への情報伝達・収集の面で利便性が増したという声も多数

また、膨大な資料の印刷と配付を行っていた議会事務局の職員からも、『印刷物を用意する手間がかなり減った』という声をいただいています。

このような人的コストの削減も踏まえると、先ほど申し上げた金額以上の費用削減効果がもたらされているのは間違いないかと思います。

その他に『議員への周知を素早くできるようになった』とか、『どの議員がお知らせを見たかわかり便利だ』とか、『アンケート機能で情報収集が簡単になった』といった声もあるように、単純なペーパーレスによるコストカットだけでなく、情報伝達をネットワーク化したことで素早く、かつ質の高い情報共有が可能となりました。

2. タブレット導入の効果と課題

新たな課題感（仮説）

せっかくのハイスペックな端末を十分に活用できていないのでは？
(ペーパーレス化で終わらない、さらなる議会内のICT推進が必要)



令和6年6月 ICT等検討会の設立

しかし我々は、こうした効果に満足していたわけではありません。

iPad airの第5世代というハイスペックなタブレット端末には、まだまだ活用の余地があるのではないかと、この仮説を打ち立てまして、議会におけるさらなるICT推進を行っていくために、令和6年6月にICT等検討会をあらたに設立しました。

要はですね、ペーパーレスだけが目的なのであれば、資料の閲覧だけに特化したもっと安価なリーダー端末でもいいわけです。

冒頭で述べましたタブレット導入のもう二つの目的である『議会活動の効率化』、『市民への情報提供の簡易化』を一層強化するためにも、もっと積極的なタブレット端末の活用を模索することを決めました。

3.現状のICT推進活動

－ ICT等検討会として取り組むべきこと－

現状把握

全議員を対象としたアンケートの実施

機能拡張

新しいアプリケーションの導入

検証と改善

実践を経てのブラッシュアップ

ICT等検討会を立ち上げるにあたり、取り組むべきことをまとめました。

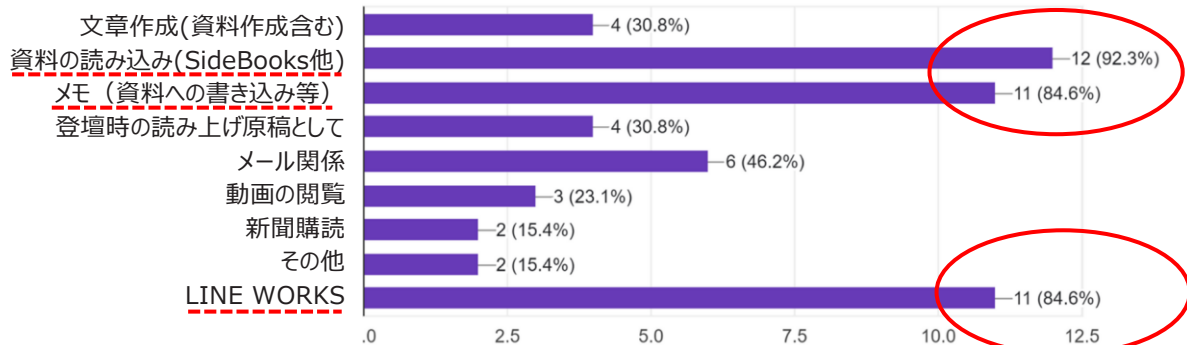
まずは現状把握ですが、先のスライドで述べた仮説の検証、すなわち議員一人ひとりがタブレット活用についてどのような認識を持っているかを明確にすることです。

そして機能拡張として、新しいアプリケーションの導入、そして検証と改善を繰り返していくといういわゆるPDCAサイクルの構築、これらを実行していこうという結論に至っています。

それぞれご説明してまいります。

3.現状のICT推進活動

議員アンケート①(会期中にタブレットをどんな時に使うか)



資料の読み込みや書き込みとしての使用が大半

まず、現状把握のために行った議員へのアンケートの抜粋をいくつかご紹介します。

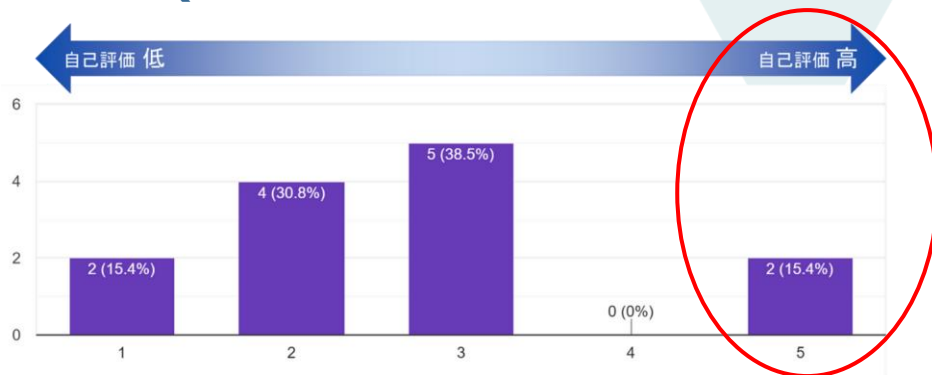
こちら、会期中にタブレットをどのようなときに使うかという質問なのですが、ほとんどの議員が資料の読み込みやメモ、いわゆるリーダーとして使用しているという回答でした。

先ほどからも出ている情報共有機能としてのLINEWORKSもよく使われています。

裏を返せば、それ以外にタブレットを活用しているケースは少ないということがわかり、先ほど述べた仮説の方向性は間違っていないのかなと思います。

3.現状のICT推進活動

議員アンケート②(タブレットを使いこなせているかの自己評価)



使いこなせていると感じている議員はごく少数

タブレットを使いこなせているかという問いの自己評価としましては、最大の5にしている議員は2人しかおらず、どちらともいえない、もしくは使いこなせていないと感じている議員が大半を占めています。

3.現状のICT推進活動

議員アンケート③(自信がない部分についての自由記述)

(自己評価が低い方に対し) 具体的に自信がない部分はどこか？

- ・ 配信された情報を文書作成等に活用できていない。
- ・ 必要な資料を直ぐに探せない
- ・ 与えられたアプリ以外何が必要かわからない
- ・ 操作方法
- ・ 主に使用しているのは、LINE WORKS とSide Books ぐらいである。
- ・ アプリ等を入れていない。Googleアカウントを使っていない。
- ・ 操作を しばらくいじらないと 忘れてしまうこと。議会が終わっても、何かと使う機会が増えてきたので ちょっとずつ 慣れてはきたかな？
- ・ 必要最低限は使えていると思う
- ・ 決められた以外みない

現状の使い方以上に活用方法がわからない等、十分にタブレットを使いこなせていないと感じている声が多数

自信がないと答えた議員に自由記述で詳細を聞いたところ、こういった回答となりました。

与えられたアプリ以外何が必要かわからない、決められた以外見ないなど、どちらかというとな具体的な苦手意識があるというよりは、現状以上の使い方がわからず、なんとなく自信が持てない、といった感じが強いようです。

3.現状のICT推進活動

－新しいアプリケーションの導入－



資料のリーダー、連絡ツールの枠を超え
オンライン会議、資料作成等の新たな機能の強化を図る

こうした状況を踏まえまして、ICT等検討会の中で、もっと積極的なタブレット活用の選択肢があることを共有すべきだということが確認されました。

まずはじめに、オンライン会議や資料作成に使用できる新しいアプリケーションを全議員でインストールしてみることにしました。

当初導入されていたアプリとしては、（左側の四角になりますが）先ほどのスライドでも軽く触れましたが資料を閲覧するためのサイドブックス、事務局や議員間での情報交換ができるLINEWORKS、これに加えてタブレットから議員控室のプリンターで直接印刷できる、リコーのアプリに限られていました。

これに加える形で、（右側の四角になりますが）オンライン会議を行うためのGooglemeet、ファイルを一元的に共有するためのGoogleドライブ、文書作成のためのGoogleドキュメント、表計算などに見えるスプレッドシート、プレゼン資料を作成できるスライドといったアプリを導入しました。

これにより、タブレットを単なるリーダーや連絡ツールとしてだけでなく、議会活動における新たな機能として使えることを目指しました。

3.現状のICT推進活動

－ 災害時を想定した情報伝達訓練の実施 －



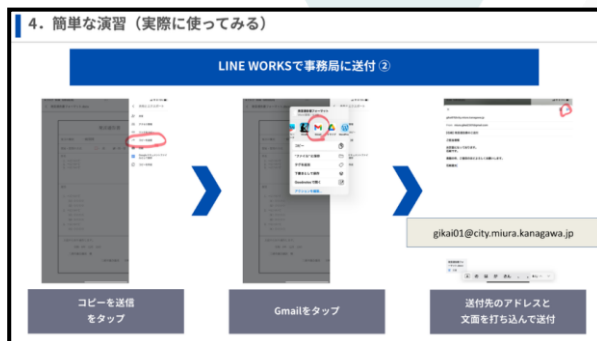
議員自身や地域の被災状況の報告および共有方法を議論
オンラインでの各種通信シミュレーションも実施

当然ながら、こうしたアプリはインストールして終わりではなくて、実際の演習を通じての活用を図っていく必要があります。

そこでまず初めに、先ほどご紹介したGooglemeetというオンライン会議用のアプリを用いまして、災害時を想定した情報伝達訓練を行いました。離れていても議員同士で会議が行えることが確認できたのはもちろんですが、それぞれの被災状況について、ICT環境を使ってどのように共有するのが最適であるのかを議論できたりと、とても有意義な検証の時間となりました。

3.現状のICT推進活動

ー 三浦市議会ICTスキル向上プロジェクトの発足 ー



議員間での文章作成ツール(Googleドキュメント)勉強会を実施
簡単な演習を通じてまずは“活用できる機会”を共有する

また、ICT検討会の中で三浦市議会ICTスキル向上プロジェクトというものを発足させ、議員間での勉強会を実施しました。

新たに導入したGoogleドキュメントというアプリを用い、文章が簡単に作成できることを確認したほか、事務局へのファイルの共有も含めて演習を行いました。

慣れない操作にはじめのうちは戸惑う議員もありましたが、議員間で教え合ったり考え合ったりしながら、結果的に全員が課題をクリアすることができました。

PCがなくてもタブレットを用いて文章作成と共有が簡単にできることが、共通認識として芽生えたのかなと思います。

まだこのプロジェクトは立ち上がったばかりですが、他にもテーマを検討しまして、適宜勉強会が開催できたらと考えています。

最後に

**“一部の議員だけ”ではなく、“全議員”で
議会のICT推進を底上げしてまいります。**

ICT推進は目的ではなく、あくまで手段。

**試行錯誤を繰り返しながらではありますが、引き続き
市民の皆様のための議会機能強化に取り組んでまいります。**

**ご清聴ありがとうございました！
忌憚のないご意見を頂戴できたら幸いです。**

以上が、三浦市議会におけるICT推進の経緯や現状、
今後についてのお話になります。

ご説明してきました通り、三浦市議会では“一部の議
員だけ”ではなく、“全議員”で議会のICT推進を底上げ
してまいります。

ICT推進自体は目的ではなくあくまで手段ですから、
これからもこのタブレットをフル活用しながら、市民
の皆様のためのさらなる議会機能強化に努めてまいり
たいと思います。

ご清聴いただき、誠にありがとうございました。